

ク. 磐城農業高校 上遠野昭定 同上

③ 研修主題

ア. 静岡県養豚試験場派遣者

- ・ランドレース種の育成と繁殖
- ・豚雑種利用の問題点について

イ. 北海道酪農学園大学派遣者

- ・北海道酪農学園大学における大農試酪農経営実態の考察について

ウ. 福島県農事試験場派遣者

- ・田植後の作業機能に関する考察について

エ. 農林省平塚農事試験場派遣者

- ・きゅうりの呼びつきについて
- ・「そ菜の育苗」速成床土、養液育苗について
- ・花き栽培生産と消費の概況について

以上の通り短期間ではあったが極めて充実した研修であった。しかし、今後はこれを基礎として、さらに研究を深め、毎日の授業を一層充実したものにしていきたいと願うものである。

7 商業高校の体質改善

(1) 概要

昨今、科学技術教育の必要性がおおいに叫ばれているが、科学技術の進歩が、市場の拡大と多様化をまねき、商業の役割りがますます幅広く、しかも深くなってきた。「商業」の概念はともすると、狭義の売買という事象にとらわれがちであるが、現代の経済社会制度を理解するとき、商業は第三次産業活動の全領域にわたるものであるといえるのである。

これらのすう勢に対応するために、商業界においては、最近、商品流通機構の整備、商店経営の合理化、ならびに事務改善等に関心が持たれるようになった。

国においても、かかる新時代の要求に応じた商業教育を行なうために、職業に関する学科の教育課程を、昭和38年度に、大幅に改訂して、実験実習を重視し、理論と実際が遊離しないように取り扱うことにした。

産業教育振興法にもとづく一般設備費による国庫補助事業では全部の学校に、急速にその条件をみたすことができないので、本県においては、県単独事業として基礎的設備と近代的設備とを勘案したか年充実計画をもってその底あげと近代化を合わせてはかろうとするものが、商業高校の体質改善事業である。

本年はその第三年次にあたっており、かなタイプライタ(電動式)、卓上簿記会計機、電動計算機、電動加算機を購入し、それらを次表のように配分した。

(2) 実施状況

① 備品配分

9,660千円

昭和41年度商業高校体質改善配分状況

	かなタイプ ライタ (電動式)	卓上簿記 会計機	電 動 計 算 機	電 動 加 算 機
	福島商業	2	1	—
福島女子	1	—	—	2
保原	1	—	1	—
本郡山	1	—	—	1
須賀川	2	1	—	—
須賀川	2	—	—	1
白河	1	—	1	—
東白川	1	—	1	—
若松	2	1	—	—
喜多方	2	1	—	—
西会津	—	—	1	—
小平	2	1	—	—
小名浜	1	—	1	—
双葉	—	—	1	—
浪江	—	—	1	—
相馬	—	—	—	2
原町	1	—	—	2
福島第一	—	—	—	1
安積	—	—	—	1
須賀川第二	—	—	—	1
白河第二	—	—	—	1
平第二	—	—	—	1
合 計	20	5	7	15

② 教職員長期研修 340千円

下記商業科教員9名を派遣して、事務機械操作技術の習得をはかり、資質の向上をはかった。

福島県立本宮高等学校教諭	佐藤 晃
〃 郡山商業	仁科 彦
〃 白河	塚本 寿一
〃 東白川農商	鈴木 輝夫
〃 若松商業	筒井 一夫
〃 西会津	石田 正則
〃 小名浜	松本 巖
〃 福島第二	村上 実
〃 須賀川第二	清水 明

研修期間 8月3日～8月11日

研修派遣先 東京都中小企業会館ならびに株式会社黒沢商店

研修内容

- 事務管理ならびに事務システム理論
- 事務機械の実技、演習
- 事務機械使用事業場見学
- 事務機械指導法
- 事務分析、帳票設計

第8節 へき地教育

本県のへき地学校の実態は、人事委員会指定の学校だけでも県全体の約38パーセントにくらいし、分校の数も多くその上複式、複々式、単級とその構成はバラエティにとみ、その指導も容易ない実情にある。

学校の施設、環境等についても、同じへき地であっても小規模校、分校といくに従って、各教科の教材教具等の充実率も低位であり、教科によっては皆無といった状態も見られる。

また、児童、生徒はへき地という環境条件のもとで経験領